

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念・企業ビジョン

持続可能な社会の実現に貢献する『水の新たな価値』の開拓者

売上高
4,700億円売上高事業利益率
16%ROE
12%以上ROIC
10%以上

② 中長期の経営戦略

1. 電子産業への重点化

超純水供給事業の知をバリューチェーン全体で活用し、営業・設計・調達の変革により、世界の電子産業市場での事業展開を加速。

3. 社会課題解決イノベーション

GHG排出削減、節水、資源循環などで新領域開発に取り組み、外部機関との協業で競争優位性を確立。

2. 多様な産業での社会価値創出

CSVビジネスをグローバル展開し、サーキュラーエコノミーの視点で企業と企業、企業と地域をつなぐソリューション開発。

4. 技術立社の基盤強化

多様な人材獲得・育成と知財ビッグデータ活用でイノベーション推進。デジタル技術で『水の知』蓄積と利活用。

③ 対処すべき課題

① 電子産業での競争優位確保

- ・ 顕在・潜在案件の投資情報を事前把握し確実に確保
- ・ EPC・EP+モジュール起点のサービス事業拡大
- ・ 精密洗浄事業の選択と集中で収益性改善

② CSVビジネス拡大と収益性向上

- ・ 既存展開と新規創出のさらなる加速
- ・ PFAS需要へのグローバル対応
- ・ 低収益ビジネス見直し、リカーリングビジネス獲得

③ 新規事業創出と技術競争力強化

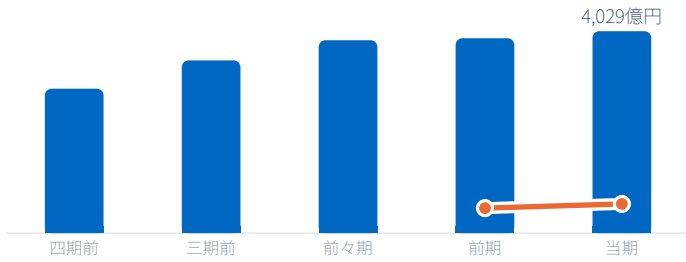
- ・ 新規事業の社会価値・経済価値検証と大型化
- ・ 特許網構築とIPランドスケープ活用
- ・ データ基盤を本格活用する範囲拡大

面接で使えるポイント

- ・ PSV-27計画で2027年度売上高4,700億円達成を目指し、社会価値と経済価値の両立を実現。
- ・ 電子産業・CSVビジネス・イノベーションの3軸で、グローバル市場での事業基盤を世界四極で構築中。
- ・ 『水に関する知』の蓄積と2025年度データ基盤本格稼働で、デジタル技術を駆使した課題解決力を強化。

証券コード 6370

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,029億円営業利益率
14.5%財務健康度
56点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 67.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,002万円
機械内 6位/208社平均年齢
43.3歳
機械内 71位/209社平均勤続
16.0年
機械内 94位/209社女性管理職
5.8%
機械内 49位/168社男性育休
78.7%
機械内 100位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 栗田工業とFracta Leap、インフォマティクスを標準手

